

「自転車のまち推進計画後期計画」の取組内容一覧

柱	施策事業	番号	重点事業	事業名	取組内容	平成29年度実施状況 (H30.3.31見込み)	平成30年度実施予定
I 安全	安全な走行空間の確保	1-ア	☆	自転車走行空間のさらなる延伸	<p>自転車が安全に走行できるよう、自転車専用通行帯や矢羽根型路面表示などの整備手法を活用し、安全性の高い自転車走行環境を創出する。</p>  <p><自転車専用通行帯> <矢羽根型路面表示></p>	<p>【自転車走行空間の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鶴田宝木線など 16路線 18.1km を整備 (内訳) 自転車専用通行帯 7路線 6.4km 矢羽根型路面表示 9路線 11.7km 整備延長 40.0km /57.7km (69.3%) 整備完了 広報うつのみや5月号やホームページにおいて、自転車走行空間の整備状況及び通行方法について周知 	<p>【自転車走行空間の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和尚塚通りなど 11路線 6.0km 整備 広報うつのみややホームページを活用した周知
		1-イ		自転車走行における走行支障物件の撤去指導	<p>自転車が安全に走行できるよう、路肩などに置かれている走行支障物件の不法占用防止に向けて、撤去指導や周知啓発を行い、自転車走行空間の安全性の向上を図る。</p>  <p><乗り入れブロック></p>	<p>【不法占用防止に向けた周知啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報うつのみや8月号や市ホームページにおいて不法占用防止に向けた周知 正しい使用方法について、購入者に対する周知協力を販売店に依頼 自転車走行空間の整備工事に合わせて、周知チラシの配付 	<p>【不法占用防止に向けた周知啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き広報うつのみやにおいて、段差解消ブロック等の不法占用防止に向けた周知 自転車走行空間の整備路線において、周知チラシの配付
	2-ウ	☆	交通安全教室の充実	<p>子どもから高齢者まで、各世代に応じ、基本的な交通ルールや自転車の正しい乗り方などを指導する交通安全教室を実施する。</p>  <p><子ども自転車免許証> <スケアード・ストレイト方式></p>	<p>【小学生に対する交通安全教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども自転車免許事業 (小学4年生) 70校 4,771人 振返り学習 (小学5・6年生) 70校 <p>【中学・高校生に対する交通安全教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> スケアード・ストレイト方式 16校 7,759人 <p>【成人・高齢者に対する交通安全教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車シミュレータ (高齢者) 15回 619人 警察と連携した自転車教室 9回 293人 	<p>【小学生に対する交通安全教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども自転車免許事業 (小学4年生) 70校 振返り学習 (小学5・6年生) 70校 <p>【中学・高校生に対する交通安全教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> スケアード・ストレイト方式 14校 <p>【成人・高齢者に対する交通安全教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 警察等の関係機関とも連携しながら、体験型の自転車教室の実施 	

「自転車のまち推進計画後期計画」の取組内容一覧

柱	施策事業	番号	重点事業	事業名	取組内容	平成29年度実施状況 (H30.3.31見込み)	平成30年度実施予定
I 安全	安全啓発活動の実施	2-エ		自転車安全利用のための広報啓発活動の充実	<p>地域や高校生、警察等と連携しながら、自転車利用者に直接安全利用を呼びかける街頭指導を行い、さらなるルール・マナーの向上を図る。また、安心して自転車が利用できるよう、自転車保険の加入を促進する。</p>  <p><街頭指導></p>	<p>【街頭指導の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 10箇所 27回実施（見込） <p>【自転車損害賠償保険の加入促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生の保護者に対し、保険の加入促進に向けた自転車安全利用啓発チラシを新たに配布 全中・高生に対し、損害賠償事例や自転車保険について記載したチラシを配布 広報うつのみや5月号や市ホームページにおいて保険加入促進に向けた周知 	<p>【街頭指導の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 10箇所実施 <p>【自転車損害賠償保険の加入促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに市内の中学1年生・高校1年生に対し、入学時期に合わせ、自転車損害賠償保険加入の重要性について掲載したチラシを配布 自転車販売店等と連携しながら自転車利用者への働きかけを強化
	安全を守る環境づくりの推進	3-オ		ヘルメットの着用・普及の促進	<p>自転車用ヘルメットの着用・普及促進に向けて、その着用の重要性について広く周知啓発を行うとともに、「自転車安全利用応援店」認定事業の実施やヘルメットの普及に向けた仕組みなどを検討する。</p>  <p><自転車ヘルメット利用推進員任命式></p>	<p>【ヘルメットの着用促進に向けた周知啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報うつのみや5月号や市ホームページにおいて着用促進に向けた周知 新たに小学生とその保護者に対し、ヘルメットの着用促進に係る自転車安全利用啓発チラシを配布 各種交通安全教室において、ヘルメット着用の重要性を伝える実験等の実施 	<p>【ヘルメットの着用促進に向けた周知啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報紙や各種交通安全教室等において周知啓発の実施 新たに市内の中学1年生・高校1年生に対し、入学時期に合わせ、自転車ヘルメット着用の重要性について掲載したチラシの配布
					<p>【「自転車ヘルメット利用推進員」による着用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車ヘルメット利用推進員 82人任命 累計412人 	<p>【「自転車ヘルメット利用推進員」による着用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区交通安全推進協議会を通じて、計画的に推進員の任命 	
					<p>【「自転車安全利用応援店」認定事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市ホームページに掲載し周知 小学生に配布する自転車安全利用啓発チラシに掲載し周知 	<p>【「自転車安全利用応援店」認定事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自転車安全利用応援店」認定事業を通じて、自転車ヘルメットの着用促進 	
				<p>【自転車販売店等と連携した購入促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 普及促進に向けて、自転車販売店等と意見交換の実施 	<p>【自転車販売店等と連携した購入促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車販売店等と連携しながら自転車利用者への働きかけの強化 		
II 快適	回遊性の向上	1-ア		レンタサイクルの貸出場所の拡充に取り組むとともに、利用実態を踏まえ、利用料金の見直しなどを検討する。	 <p><レンタサイクル></p>	<p>【レンタサイクルの拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営駐輪場8箇所において実施 レンタサイクル利用者 47,000人（見込） 各駐輪場の利用状況により、設置台数を最適化 利用促進にあたり、中心市街地のイベント開催時に使用料の減免（100円引き） シェアサイクル運営事業者等に対する情報収集 	<p>【レンタサイクルの拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用状況に応じ設置台数の調整 開設時間の延長の検討 イベント時の使用料の値引きによる周知 貸出場所の増設に向け、商業施設などに対し、意向確認 新システムを活用したシェアサイクルの検討

「自転車のまち推進計画後期計画」の取組内容一覧

柱	施策事業	番号	重点事業	事業名	取組内容	平成29年度実施状況 (H30.3.31見込み)	平成30年度実施予定
Ⅱ 快適	中心市街地の利用環境の向上	2-イ	☆	中心市街地における良好な通行空間の確保と駐輪環境の充実	<p>駐輪場の利用促進に向けた周知啓発を引き続き行うとともに、放置自転車対策の強化に取り組み、良好な通行空間を確保する。また、市民ニーズに即した歩道上の空きスペースなどを活用した駐輪場の確保や、地元商店街などと連携を図りながら駐輪場の設置について検討するなど、駐輪環境の充実に取り組む。</p>  <p><放置自転車撤去></p>  <p><中央1丁目自転車駐輪場・自転車保管所></p>	<p>【市営駐輪場の利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR宇都宮駅周辺駐輪場の定期利用者の待機者を解消するため、駐輪場の一時・定期利用スペースの見直しの実施 ・ 中心市街地駐輪場の利用者数 278,000人(見込) <p>【放置自転車の撤去の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地, JR宇都宮駅周辺において放置自転車の即時撤去の実施 (H29.12実績 15回 188台) ・ 保管所を中心市街地に立地する中央1丁目自転車駐輪場内へ移転 <p>【歩行者の安全性確保及び駐輪スポットの整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オリオン通りにおける「押しチャリ」の実施 ・ 中心市街地における自転車の利用実態と自転車利用者や商店街の意向についてアンケート調査を実施 <p>【民間施設などに対する駐輪場の附置義務の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 附置義務拡大に向け、先進地事例の情報収集 	<p>【市営駐輪場の利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市営駐輪場の適切な管理運営 <p>【放置自転車の撤去の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車放置禁止区域等や市営駐輪場及び自転車保管所の周知啓発 ・ 即時撤去を継続的に実施 <p>【歩行者の安全性確保及び駐輪スポットの整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンカフェや押しチャリの取組にあわせて、地元商店街や関係機関などと連携しながら、駐輪場の設置検討 <p>【民間施設などに対する駐輪場の附置義務の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先進事例の情報収集
	サイクリストへのサポート	3-ウ		自転車の駅の充実	<p>自転車利用者の休憩スポットである自転車の駅について、コンビニエンスストアへの設置に加え、新たに飲食店などへの設置を進める。</p>  <p><自転車の駅></p>	<p>【自転車の駅の拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンビニエンスストア 2箇所と飲食店 1箇所に増設 (参考) ・ 公共施設 13箇所 ・ 民間施設(コンビニ, 飲食店, 観光施設) 38箇所 合計 51箇所 	<p>【自転車の駅の拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイクリストが利用しやすい効果的な場所への設置
	サポート制度の創出	4-エ		自転車利用に係る民間企業などに対する支援	<p>民間の活力を取り入れた自転車のまちづくりを推進するため、バス事業者等へのバス停付近への駐輪場整備の支援に取り組むとともに、民間と連携した駐輪環境の創出など、新たな仕組みを検討する。</p>	<p>【民間へのサポート制度の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間と連携した駐輪環境の創出を図るため、商店街を対象に意向調査を実施 	<p>【民間へのサポート制度の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バス事業者等への支援の継続 ・ 中心市街地の商店街への支援については、官民の役割分担等を地元商店街や関係機関などと連携しながら、駐輪場の設置に取り組むとともに、法の整理についても併せて検討していく。

「自転車のまち推進計画後期計画」の取組内容一覧

柱	施策事業	番号	重点事業	事業名	取組内容	平成29年度実施状況 (H30.3.31見込み)	平成30年度実施予定
Ⅲ 楽しく	プロスポーツとの連携・宮サイクルステーションの拡充	1-ア	☆	ジャパンカップサイクルロードレースの開催及び周辺環境の向上	<p>ジャパンカップサイクルロードレースの受け入れ態勢などをさらに拡充させるとともに、世界規模の大会の誘致に取り組むなど「自転車のまち宇都宮」のブランド力の一層の向上を図る。また、ジャパンカップコースへの案内など、サイクリストへのサービスの充実に取り組み、広域からの恒常的な誘客を促進する。</p>  <p><サイクルロードレース> <クリテリウム></p>	<p>【ジャパンカップサイクルロードレースの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジャパンカップサイクルロードレース・クリテリウムの開催 (H29.10.21~22) ・ 観戦者数 118,000人 	<p>【ジャパンカップサイクルロードレースの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観戦環境の向上やおもてなしの充実,安心・安全な運営をキーワードとした大会の開催 ・ 世界規模の大会の誘致に向けて調査・研究
					<p>【ジャパンカップコースを活用した誘客促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅ろまんちっく村からジャパンカップ会場を結ぶルートに案内サイン5基を整備 	<p>【ジャパンカップコースを活用した誘客促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジャパンカップコースまでの距離などを示す案内看板の増設 	
					<p>【ジャパンカップコース周辺における拠点整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林公園周辺の現状の整理や今後の方向性について委託調査を実施 	<p>【ジャパンカップコース周辺における拠点整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「宇都宮市森林公園再整備基本計画」を策定するための調査実施 ・ 森林公園駐車場の整備 	
					<p>【自転車安全利用教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車安全利用教室の開催 7校4,165人 	<p>【自転車安全利用教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車安全利用教室の開催 7校 	
		<p>【いきいき健康自転車教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いきいき健康自転車教室の開催 3回55人 	<p>【いきいき健康自転車教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いきいき健康自転車教室の開催 3回 				
		<p>【体力向上サポーター派遣事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体力向上サポーター派遣事業の開催 6校 	<p>【体力向上サポーター派遣事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車の楽しさを一層学べるよう、実施内容の充実に向けて宇都宮ブリッツェンと調整 				
		<p>【競輪選手によるサイクリイベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競輪フェスティバルの開催 (H29.11.25) 来場者数 約500人 	<p>【競輪選手によるサイクリイベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競輪フェスティバルの開催 				
		<p>プロサイクルロードレースチームの宇都宮ブリッツェンと連携し、自転車利用の楽しさを学びながら、交通ルールやマナーの向上、健康増進や介護予防などを目的とした様々な自転車教室を実施する。また、競輪選手と連携し、競輪場の認知度の向上を目的とした自転車の楽しさを伝えるサイクリイベントを実施する。</p>  <p><自転車安全利用教室> <いきいき自転車健康教室></p>	<p>【自転車安全利用教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車安全利用教室の開催 7校4,165人 	<p>【自転車安全利用教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車安全利用教室の開催 7校 			

「自転車のまち推進計画後期計画」の取組内容一覧

柱	施策事業	番号	重点事業	事業名	取組内容	平成29年度実施状況 (H30.3.31見込み)	平成30年度実施予定
Ⅲ 楽しく	プロスポーツとの連携・宮サイクルステーションの拡充	1-ウ	☆	宮サイクルステーションの充実	自転車の利用促進の拠点施設として、スポーツバイクのレンタルやスポーツバイクセミナーなどを実施するとともに、さらに利用者ニーズを踏まえたサービスの充実などに取り組み、自転車のまちのシンボルとして広く市内外にPRする。	【宮サイクルステーションの充実・拡充】 ・ 来館者 6,200人 ・ レンタサイクル利用者 940人 ・ 指定管理者から新たに欲しい機能等について聞き取り調査実施	【宮サイクルステーションの充実・拡充】 ・ スポーツバイクに関するセミナー等の充実や新たな自主事業の検討 ・ JR宇都宮駅西口周辺地区整備の進捗に合わせながら、施設や機能の拡充などの検討
	自転車のまち宇都宮のさらなるPR	2-エ	☆	自転車のまちのPR	市民一人ひとりが自転車のまちづくりに対する愛着や誇りを持ち自転車を利用できるよう「自転車の日」などを設定し、市民意識の醸成を図るとともに、自転車のまちのブランド力を高めるため、「自転車のまち宇都宮」のシティプロモーションとして市内外に広くPRする。	【自転車のまちのPR】 ・ 「全国自転車問題自治体連絡協議会全日本研修会」の開催(H29.11.1~2) 出席者131人 ・ (一社)交通工学研究会主催の「交通工学講習会」での事例発表(H29.6.29) 参加者約240人 ・ (公社)日本交通計画協会発行の広報誌「都市と交通」に寄稿(H29.10発行) ・ 視察対応 20団体, 92人	【自転車のまちのPR】 ・ JRグループと地域(自治体, 企業等)による, 国内最大規模の観光キャンペーンである「デスティネーションキャンペーン」やジャパンカップなどのサイクルイベントを活用したPRの実施
		2-オ			サイクルイベントの開催及び開催支援	シクロクロスの開催やサイクルピクニック, ブルベなどに対する支援等に取り組むとともに, その他自転車競技(ツール・ド・とちぎ, 国民体育大会など)の実施にあたり, 関係機関と連携を強化し, 「自転車のまち宇都宮」を広く市内外にPRすることで自転車を活用した交流人口の拡大や誘客を促進する。  <シクロクロス>	【サイクルイベントの開催】 ・ 2017 宇都宮シクロクロスシリーズ(初の国際レース)の開催(H29.12.2~3) 会場 道の駅うつのみや ろまんちっく村 ・ ツール・ド・とちぎ2017の開催(H29.4.1) ・ ツール・ド・とちぎ2018の開催(H30.3.25) 【サイクルイベントの情報発信】 ・ 平成29年4月に実施した北関東400kmブルベとサイクルピクニックにおいて, 広報活動やノベルティの提供などの支援
Ⅳ 健康とエコ	環境負荷の低減	1-ア	☆	自転車通勤の促進	自転車通勤の促進に向けて, 民間企業に対するモビリティ・マネジメントを実施し, 自転車利用による環境や健康に対する効果などについて情報提供を行うとともに, 自転車通勤の効果を体感できるモニター事業に取り組み, 自動車通勤から自転車通勤への転換を促進し, 環境負荷の低減や健康増進を図る。	【自転車通勤の促進】 ・ 自転車通勤の実態把握のため, アンケート調査実施 ・ 自転車通勤啓発パンフレットのデータを作成 【モビリティ・マネジメントの実施】 ・ 清原, 平出工業団地内の企業に対して, 公共交通ネットワークイメージやバス再編案に係る説明や意見交換の実施	【自転車通勤の促進】 ・ 他課の事業と連携した説明会や出前講座の開催 【モビリティ・マネジメントの実施】 ・ 公共交通ネットワーク再編の具体化に向けた企業との意見交換を実施
	健康増進のPR	2-イ		健康増進への情報発信	自転車利用による健康増進への効果を市民に広くPRし, 健康増進の意識の向上を図ることで自転車利用を促進する。	【自転車利用による健康増進】 ・ 自転車の走行距離等に応じてポイントを付与し, 貯まったポイントでサービスや特典が受けられる「健康ポイント事業」の実証事業の実施	【自転車利用による健康増進】 ・ 「健康ポイント事業」の実施

「自転車のまち推進計画後期計画」の取組内容一覧

柱	施策事業	番号	重点事業	事業名	取組内容	平成29年度実施状況 (H30.3.31見込み)	平成30年度実施予定
V つながる	公共交通との連携強化	1-ア	☆	交通結節点における自転車利用の促進	<p>ネットワーク型コンパクトシティの形成やLRTの導入をはじめとした公共交通ネットワークの構築を見据え主要なLRT停留場付近に駐輪場を新設するとともに、バス停付近への駐輪場整備に取り組むなど、公共交通と自転車のつながりを強化することで、自転車利用を促進する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p><バス停付近への駐輪場整備></p>	<p>【LRT停留場付近への駐輪場整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トランジットセンターなどを含むすべてのLRT停留場に駐輪場を設置する方針とし、適正規模の算定、整備箇所の考え方について検討 	<p>【LRT停留場付近への駐輪場整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐輪場の詳細設計業務委託の実施
					<p>【LRTと自転車の連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路面電車への自転車積載について、各軌道事業者での自転車積載の可否や、輸行バッグへの収納など積載する可能性について調査 	<p>【LRTと自転車の連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車積載の可能性について検討 ・ LRT車両の運用について軌道運送事業者である宇都宮ライトレール(株)と協議 	
					<p>【バス停付近への駐輪場整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間施設（JCHO うつのみや病院内駐輪場）の協力により、1箇所 ・ 市道の歩道上への新設整備1箇所（宝木バス停） <p>※平成30年7月供用開始予定 (参考) バス事業者 8箇所、県 13箇所 市（民間企業） 9箇所 全 30箇所</p>	<p>【バス停付近への駐輪場整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間施設の駐輪場を活用した整備を1箇所実施 	
					<p>【JR宇都宮駅西口における駐輪場整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐輪場を含めた交通基盤施設について、将来の需要に基づき規模・配置等の検討 	<p>【JR宇都宮駅西口における駐輪場整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場の整備改善等を図るため、西口周辺地区整備や他の関連事業と整合を図りながら駐輪場整備を検討 	
					<p>【JR宇都宮駅東口における駐輪場整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立地施設の整備に向け、平成30年3月に事業者募集を開始 	<p>【JR宇都宮駅東口における駐輪場整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備主体となる事業予定者を決定後、施設的设计を着手予定 	
					<p>【自転車活用による広域的な周遊促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市や佐野市などの観光地とつながる連続した広域的なサイクリングルートに向けた検討 ・ 大谷地区と「ろまんちっく村」をつなぐルートを新たに設定 	<p>【サイクリングルートの設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内観光地とつながる新たなサイクリングルートの設定の検討 	
広域的な周遊促進	1-イ	☆	広域的なサイクリングルートの設定	<p>自転車を活用した広域的な周遊促進につながるよう、サイクリストのニーズを踏まえ、市街の観光地などへつながるサイクリングルートを設定し、広くルートをPRする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p><広域版> <市内版></p>	<p>【自転車マップのPR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「広域版自転車マップ（北西版）」を増刷（5,000部）し、日光市や鹿沼市で配布したほか、新聞やラジオなどを活用した周知 ・ 「市内版自転車マップ」を増刷（3,000部）し、宮サイクルステーションやサイクルイベント等で配布 	<p>【自転車マップのPR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車マップを様々な媒体を活用しながら、周知 	
				2-ウ	☆	サイクリングロードの整備延伸	<p>田川・山田川などのサイクリングロードの整備と併せて、新たに広域的に連続した快適な自転車走行空間を確保し、日常利用のほかレジャーなど多様な自転車利用を促進する。</p>